

教科	理科	学年	第2学年	担当者	水上 奈美
----	----	----	------	-----	-------

【教科目標】

- ・基礎・基本的な知識を身につけさせる。
- ・自ら積極的に学習に取り組み、科学的な関連に気付かせる。
- ・自然現象、事象を原因から科学的に考える力を身につける。

【使用教科書・教材等】

未来へ広がるサイエンス (2)、ファイル、ワーク (学習整理)、理科資料集

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい (身につけたい力)	準備物
1 学 期	化学変化と原子・分子 1物質の成り立ち 2さまざまな化学変化 3化学変化と物質の質量の規則性 動物のくらしと仲間と生物の変遷 1生物の体をつくる細胞	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化における物質の変化や量的な関係を、実験を通して探究的に追及するとともに、それらの現象を原子・分子のモデルを用いて微視的に考えることができるようにする。 ・化学変化によるエネルギーや金属資源の取り出しを理解し、身の回りで利用されている实例を化学変化・エネルギーの視点で考えられるようにする。 ・多様な実験操作を経験する機会にし、安全かつ正確に科学実験を行う技能を身につける。 ・生物の細胞の構造と働きを理解する。 ・セキツイ動物と、無脊椎動物の体の特徴や、生活について認識を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・ワーク
2 学 期	2生命を維持するはたらき 3感覚と動物のしくみ 4動物のなかまと生物の進化 電流の性質とその利用 1電流の性質 2電流の正体 3電流と磁界	<ul style="list-style-type: none"> ・動物が刺激を受け取ってから反応するまでのしくみや生命を維持するためのしくみを理解する。 ・生物の進化の過程を理解し、生命尊重の態度を身につけていく。 ・日常生活との関連を図りながら、静電気や、電流と回路、電流の磁気作用などの学習を通して、電流の正体や電流の性質、電流のはたらきについて理解する。 ・電気というエネルギーが、さまざまなエネルギーに変わることを理解し、電気は私たちの生活に欠かすことのできないものであることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・ワーク
3 学 期	地球の大気と天気の変化 1大気中の水 2大気の動き 3大気の動きと天気の変化 A大気の動きと日本の天気	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上に存在している水とその大気中での変化について認識する。 ・大気の動きを立体的に考え、大気の動きが天気に関係していることを理解し、大気の状態と天気との関連を考える。 ・暖気と寒気の衝突時の空気の動きと天気の変化との関連を理解する。 ・高気圧・低気圧の動く様子から天気の予測ができることに気付く。 ・日本付近の気団の性質を学習し、日本の四季の天気との関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・ワーク

【評価の観点と評価の方法】 (通知表のつけ方)

評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度 20%	科学的な思考・表現 20%	観察・実験の技能 20%	自然現象についての知識・理解 40%
評価の観点の趣旨	授業において、主体的・意欲的に学習に取り組もうとする態度など。	問題を見つけ、観察・実験を通して結果分析して解釈し、表現している。	観察・実験の基本操作を習得し、探究する技能の基礎を身につけている。	学習したことがらをよく理解し、理科における基礎・基本的な知識を身につけている。
評価の方法	毎時間の授業態度 (忘れ物・発言など) 提出物	定期テスト 提出プリント 提出レポート	定期テスト 提出プリント 提出レポート	定期テスト

【授業の受け方のポイント】 (担当の先生からのアドバイス)

- ・授業準備について
ベル着をする。忘れ物をしない。チャイムがなるまでに、授業で必要なものは机の上にそろえておく。
- ・授業態度について
発言するときは手をあげる、話を聞くときは聞く、ノートを書くときは書くなど、メリハリをつける。
板書以外にも、説明したことや調べたことを、ノートにメモとして書きこむ。
手をあげて発表はできなくても、発問に対して自分なりに考えをもつ。人が発言・発表をしっかり聞く。
実験や観察、班の話し合いを協力して行う。準備や片付けは分担する。素早く時間内に終わるように心がける。指示をよく聞き、実験器具ははていねいに扱う。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】 (担当の先生からのアドバイス)

- ・配布された問題プリントやワークは、何度もうりかえしましょう。一問一答形式だけでなく、説明ができるように練習しましょう。
- ・わからないことは一度自分で調べてみましょう。それでもわからなければ、そのままにせず質問に来てください。
- ・提出物の期限は必ず守りましょう。
- ・理科の授業の中で学んだことを、日常生活でも探してみましょう。